

新 城 市 議 会

厚 生 文 教 委 員 会

平成30年6月7日（木曜日）

厚生文教委員会

日時 平成30年6月7日（木曜日）午前10時43分 開会  
場所 委員会室

本日の委員会に付した事件

- 1 市民環境部  
第79号議案

「質疑・討論・採決」

出席委員（6名）

委員長	中西宏彰	副委員長	浅尾洋平	
委員	齊藤竜也	鈴木長良	山崎祐一	滝川健司
議長	丸山隆弘			

欠席委員 なし

説明のために出席した者

市民環境部の副課長職以上の職員

事務局出席者

議会事務局長 西尾泰昭 議事調査課長 金田明浩 書記 後藤知代

開 会 午前10時43分

○中西宏彰委員長 ただいまから、厚生文教委員会を開会します。

本日の本会議において、本委員会に付託されました第79号議案について審査します。

審査は説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

第79号議案 工事請負契約の締結を議題とします。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

浅尾委員。

○浅尾洋平委員 それでは、伺いたいんですが、資料請求でも出していただいたんで大体概要はわかっているんですが、今回は指名競争入札ではなく随意契約を選んだということで、長寿命化の工事という形で出されたと思うんですが、まとめてこの随意契約を選んだという理由を伺いたいと思います。

○中西宏彰委員長 佐々木生活環境課長。

○佐々木敏宏生活環境課長 資料にもつけさせていただきましたが、随意契約の理由につきましては読まさせていただきます。

当施設は性能発注により建設された複合プラントであるため、設計どおり性能を維持するには製造メーカー以外での機器更新等の施工は難しいと。また、製造メーカー以外で施工したことにより性能的・機能的な不具合が生じた場合、責任の所在が不明になり迅速な対応措置ができず、処理事業に支障を及ぼす可能性が生じる。

本案件にて長寿命化を図る燃焼設備や排ガス処理設備、灰出し設備、燃焼ガス冷却設備については、冷却性能や処理機能、既設他機器との取り合いに大きな影響を及ぼすものであるため、製造メーカーである三菱重工株式会社より業務を継承している三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社中部支店1者と随意契約として対応したいということで、上げさせていただきました。

○中西宏彰委員長 浅尾委員。

○浅尾洋平委員 わかりました。大変専門的なシステムで、大変難しい、複雑に組み合ったプラントをやるということで、専門性が高いということでそういう随意契約の理由が、そういうふうに理解できました。

そういう中で、随意契約の流れで来てるといっていますが、工事費は約3億円ということで大きい金額ではあるんですが、今の本会議でも山口議員が少しお話もあつたんですが、その価格というのは市の価格検討した結果というのは、妥当だということで理解しているのか、伺いたいと思います。

○中西宏彰委員長 佐々木生活環境課長。

○佐々木敏宏生活環境課長 部長が本会議の質疑で答弁させていただいたとおり、当初は長寿命化計画に基づいて工事すべき場所をメーカーの見積もりということで予算は算定させていただきました。

その後、いつも2月に全休炉ということで、2炉ある焼却炉をとめて総点検を行います。ですから、そのときにいろいろ状況を確認した上で、その後いろんな材料の価格について精査、それから工法等も類似事例、他市の事例とか聞きながら、確認しながらメーカーである三菱の関係の会社と交渉を重ねて、設計の金額に至ったということで、その後随意契約により今の契約金になっているという状況でございます。

○中西宏彰委員長 ほかに質疑ありませんか。滝川委員。

○滝川健司委員 今、価格の適正性について説明がありましたけども、価格の精査というのはどのレベルで行われたのか。要するに環境の職員が、価格が適正かどうかの判断は何を基準にして判断されたのか、今、他市の事例ですとかいろいろ言われたんですけども、それ自体は適正かどうかの判断についてどこにあつたんでしょうか。

○中西宏彰委員長 佐々木生活環境課長。

○佐々木敏宏生活環境課長 材料について、広く市販されているようなものについては、そういった物価版という本や書籍等で確認ができるんですが、専門的なものについてはなかなか検証しにくいというのが実際、実情なんです。それについて、ただメーカーからの見積もりをうのみにするわけではなくて、その内容を確認しながら、それからうちの担当職員は現場にしっかり入って、物をしっかり見てますので、現場の運営の管理者との運用の仕方も確認しながら、どんな状態かを見ながら、どういうふうになれば一番いい工法で工事ができるかということで、頭を悩めながらやっています。

それで、他市の事例で参考になるものはほとんど吸収してやっていますので、そういう理解しております。

○中西宏彰委員長 滝川委員。

○滝川健司委員 この価格の妥当性を判断するにはかなり専門的な知識と情報がないと、なかなか職員レベルでできるのかなというのが疑問なんです。この随意契約の理由についてやむを得ないということについては理解するんですけども、この三菱重工から業務継続している三菱重工環境・化学エンジニアリング、三菱重工の子会社だと思うんですけども、三菱重工がかつてこの工事を請け負ったときに、談合して、しかも数千万円の課徴金を支払ってるわけですね。そういう前歴がある企業がこういった一方的な価格を提示したときに、じゃあそれが適正なのかって保証できる担保がないんですね。

ですから、例えば新庁舎の建設工事が鹿島建設1者の随意契約ですね、30億円近く。その場合は、第三者に価格の適正の検証をしてもらった経緯がある、それは、専門的知識の第三者としても適正評価をしていただいた。

今回こういう工事に関しても、やっぱり何かそういった仕組みを取り入れて、その価格の適正性を市の判断プラス第三者に判断して

もらう仕組みというのがないと、一方的にメーカーから打診されて、それと交渉したという経緯はわかりますけども、そういう形であなの方自身もそういう単価をとるという仕組みを考えたほうがいいと思うんですけども。

これまでも、1億5千万円以下ね、かなりの発注、設置であったり、相当な金額が発注されてるわけですので、そういうものも含めてやっぱり発注に当たっては、議会の議決を得る場合は、こういう機会がありますけども、そうじゃない場合は設備もすつとこっちやうようなケースがあるものですから、その辺も含めて、やっぱり制度として第三者に価格の適正をチェックしてもらう、特にこういった専門知識がないと判断できないような場合は、そういった仕組みを取り入れるべきだと私思うんですがね。そういうことは感じていただけますか。

○中西宏彰委員長 佐々木生活環境課長。

○佐々木敏宏生活環境課長 クリーンセンターのそのもの、三菱ですが、その後いろいろ修繕等で三菱以外のものでも可能なものについては、そういったところでも行っています。ほかのメーカーの部品等を使っています。

ただ、どうしても三菱じゃないとほかのほうとの不具合がおきるようなもの、今回基幹的なものなものですから、そういったものについてはなかなか検証しにくいというのが実情なんです。それについても内容はすごい職員が勉強してやっていますので、外部に頼むとなると今度外部に依頼する費用等も発生するかと思います。何らか職員の頑張りや来ておるといところが実情ですが、何かそういう価格の妥当性というのはずっと難しい事項で、考えております。

○中西宏彰委員長 山本市民環境部長。

○山本光昭市民環境課長 滝川委員の言われることはよくわかるんですが、プラントメーカー独自につくっているプラントでございますので、そういったものをそれでは修繕する

といったときに、外部の検証委員会が価格判断できるかどうかという部分は非常に疑問な点がございます。

今は、たまたま担当職員が非常に専門的な知識を習得して、メーカーとかなりのやりとりをした中で、我々も一緒に入ってほんとにその価格が妥当なのかということ、常々議論しているところでございますが、一番懸念するのは、今の担当職員、かなり専門的に今回の随意契約の施工理由等についても、自分できちっとこういった文書ができるだけの技術的なところはもっておりますので、今のところは安心しておるんですが、こういったことの継承が今後問題かなと思っておりますが、なかなか委員と言われるような外部の委員が検討するような、事案的に特殊なプラントということで、県内には確か2カ所、三菱重工製では名古屋市と常滑の武豊の衛生組合、そういったところとも職員と情報交換しながら、技術的な検討を行っているというのが実情でございます。

なかなか外部検証というのは難しいかなと思っております。

○中西宏彰委員長 滝川委員。

○滝川健司委員 おっしゃること、よくわかるんですが、確かにそういった専門的知識が努力されて、職員の方勉強されてる。その職員、ずっと市の職員でおられるわけではないお話、人事異動があったりとかすれば、また全部戻ってしまう可能性があるわけなので、その辺のこともみて、そのふだんの努力は認めますし、それは十分理解するんですけども、その職員の方が異動しちゃったら誰が判断するのっていうことになっちゃいますので、そういう点含めて、何か担保する仕組み、外部に出すとお金がかかるって言われるかもしれないけど、それはやっぱりこういった随意契約を担保していくために必要な経費と考えるか、その経費がどの程度かかるかにもよりますけども、それを入れることによって契約金

なんか少しでもさらに精査でき、下がるのであれば、その経費は無駄ではないと思うし、どれぐらいの金額が、膨大な金額がかかるというのであれば考え方も変わってきますけども、前回の新庁舎のときもそんなに莫大な経費はかかっていなかったと思いますので、そういった専門意識をもつプラント設計事務所だとか、どういったところを想定するかわかりませんが、少し研究されて、今後の課題という形で捉えていただければと思いますし、担当職員の方も悩ましい判断をする、やむを得ないかもしれないけどそういうことも配慮すべきだなと、私は思っていますので、よろしく願いいたします、今後の課題について。

○中西宏彰委員長 佐々木生活環境課長。

○佐々木敏宏生活環境課長 おっしゃる意味はわかるんですけども、ただ庁舎とクリーンセンター、ただクリーンセンターのほうが専門的ということで、なかなか同種の施設でもメーカーによってまた炉がストーカ炉っていう炉なんですけど、それによっては違ってくるものですから、そういった検証が必要で、なかなか今ほんとに同種同等のものと比較検証というのが、豊川市とかは違うものですから、ストーカ炉でもほかのメーカーであったりするものですから違うものがあるので、なかなかしにくいんですが、何らかの客観的なというものはちょっと考えていきたいと思っています。

○中西宏彰委員長 山本市民環境部長。

○山本光昭市民環境課長 新城市に限らず、このような焼却炉は全国各地にございますので、そういった専門的なプラントの設計修繕の内容について、他市の事例等照会しまして、どのような検証をしているのかというところを研究しまして、今後取り組んでいきたいと思っております。

○中西宏彰委員長 ほかに質疑はありませんか。

[発言する者なし]

○中西宏彰委員長 質疑なしと認めます。

質疑を終了します。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔発言する者なし〕

○中西宏彰委員長 討論なしと認めます。

討論を終了します。

これより第79号議案を採決します。

本議案は、原案のとおり可決することに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中西宏彰委員長 異議なしと認めます。

よって第79号議案は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は、全て終了しました。

なお、委員会の審査報告書及び委員長報告の作成については、委員長に一任願いたいと思います。これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○中西宏彰委員長 異議なしと認め、そのように決定しました。

これもちまして、厚生文教委員会を閉会します。どうもありがとうございました。

**閉 会 午前10時58分**

以上のとおり会議の次第を記録し、これを証するために署名する。

厚生文教委員会委員長